

COSATTO Zoomi ズーミチャイルドシート取扱説明書

【重要】このマニュアルはいつでも参照できるように保存して置いてください。本製品を安全にお使いいただくために、本書の内容をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。

ユーザーガイド

コサット製品をご購入下さり、誠にありがとうございます。本製品を安全で楽しくお使いいただくために、本書に書かれてある内容をよくお読み下さい。本書はチャイルドシートの座席の後ろ側に保管いただくためのポケットがございますので、常にチャイルドシートと一緒に保管して下さい。

安全性に関する注意事項

保護者の責任の下、お子様の安全をお守り下さい。



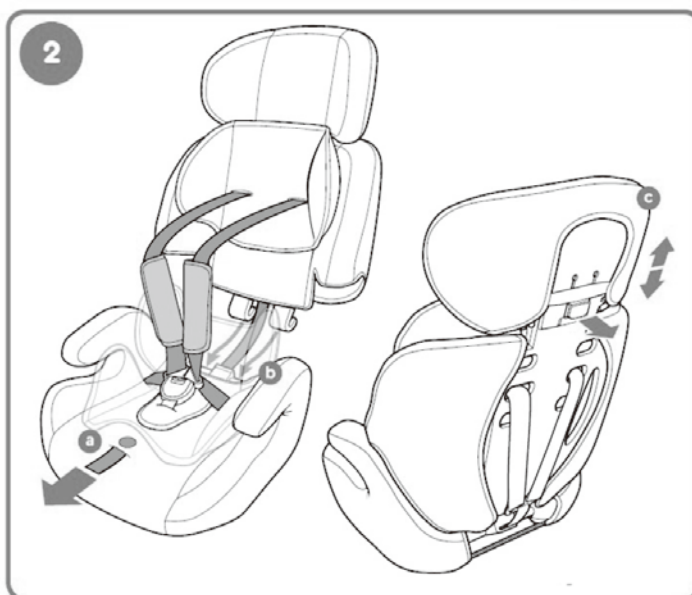
警告

今後の参照のため大切に保管して下さい。誤った使い方によるケガや損害に関しましては責任を一切負いかねますので、製品をご使用前にこの取扱説明書を注意深くお読み下さい。下記のお取り扱い注意を怠ると、お子様の安全が損なわれる恐れがありますので、必ずお守り下さい。

- 本製品は9キロから36キロまでのお子様を車で安全に移動できるとチャイルドシートとして認められています。
- どのような事故であっても、一度でも事故にあった後はそのチャイルドシートを使用しないで下さい。
- 車の座席と本製品が向かい合う形で設置しないで下さい。
- エアバッグが搭載された助手席に本製品を設置しないで下さい。
- ほんの少しの時間でもお子様を一人で車内に放置しないで下さい。
- 本製品にお子様を乗せる際は必ず安全ベルトを使ってお子様を固定してください。
- 本製品の部品を分解したり改造したりしないで下さい。また、他メーカーのアクセサリーや部品を取り付けるのもおやめ下さい。
- 本製品の部品がドアに挟まったりして部品が壊れないように管理して下さい。
- 耐荷重以上の負荷が本製品にかかった場合は本製品の安全性を損なう可能性があります。
- 本製品を家などの車内以外の場所での使用はしないで下さい。
- 本製品は進行方向に対して前向きに向いている座席に取り付けて下さい。
- お子様の安全を確保するために必ず常時チャイルドシートのシートベルトと、車のシートベルトに緩みなどがないことをご確認下さい。
- 緊急時にすぐに車から脱出できるようにチャイルドシートのバックルは子供でも外せるように設計されております。
- コサットから認められていないパーツやアクセサリーを使用しないで下さい。
- お子様のおへその位置でチャイルドシートのバックルがくるようにして下さい。
- チャイルドシートのカバーを取り外したまま、使用しないで下さい。シートカバーは安全性を確保する上で重要な部品の一つとなっておりますので、コサットから推奨されていないカバーを代用することはしないで下さい。
- 万が一車が衝突した際、車内の荷物がチャイルドシートに座っている子供に当たらないように安全性を確保して下さい。
- 事故があった際は、チャイルドシート、車のシートベルトを交換してください。見かけは損傷がなさそうに見えたとしても、事後後のチャイルドシートやシートベルトは十分な安全を確保することはできません。
- コサットは使用済みのチャイルドシートの売買を推奨しません。中古品のチャイルドシートは安全でないものが市場でかなり見つっているからです。
- ハーネスや車のシートベルトなどが車のドアに挟まったり、車内にある尖った物などで損傷したりするのを防いで下さい。
- ハーネスや車のシートベルトが切れたり、磨り減ったりした場合は使用される前にすぐに新しいものと交換して下さい。
- 本書の内容に従わずに事故にあった場合は、自動的にコサット、及び代理店は免責となりますので、ご注意下さい。

2. チャイルドシートの組み立て方

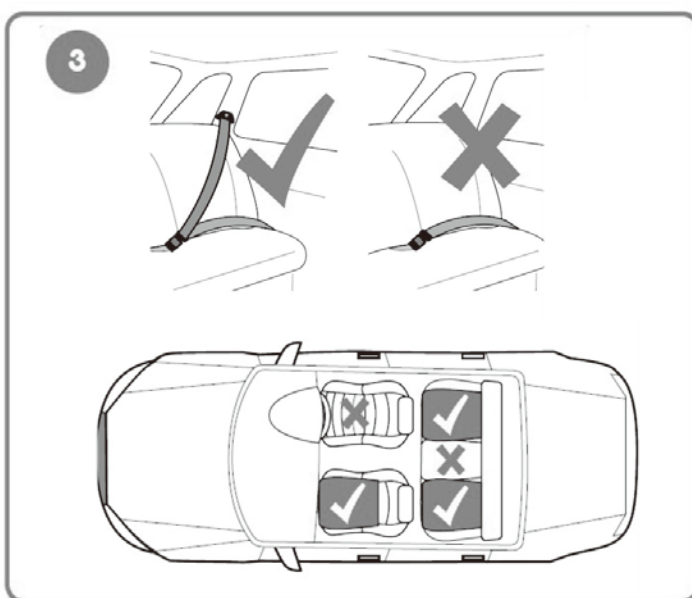
1. ブースターシートにあるアジャスターボタン (a)を押しながら、調整ベルトを引っ張ります。
2. ブースターシートの後部にある左右の差込口 (b)に背もたれのフックを差し込み、背もたれを起こします。
3. ヘッドレストの高さ調整をします。背もたれの後ろのレバー (c)を手前に引きながらヘッドレストを上下に動かし、適した高さに合わせます。



3. 適したシートベルトの条件

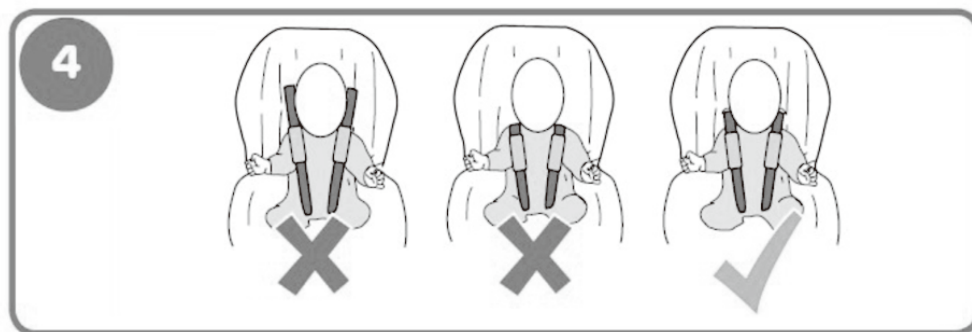
【警告】

本製品は進行方向に対して前向きに向いている座席で、肩(斜め)、腰ベルトのシートベルトが備わっている場所、助手席（エアバックが装備されていない）または後部座席に設置してください。エアバッグが備わっている助手席には設置できませんので、ご注意ください。

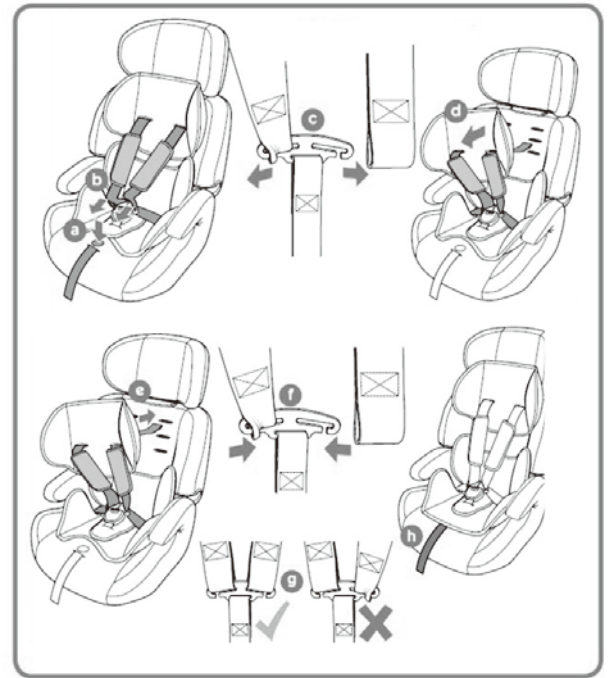


4. 安全ベルトの調整方法

1. 肩ベルトはお子様の肩のラインよりも一番近い上のスロットに合わせてください。もし、判断に難しい場合は一つ上のスロットをお選び下さい。肩のラインよりも下のスロットは使用しないで下さい。また、肩ベルトは背もたれのスロットとシートカバーの差込口を通して下さい。一番上のスロットはお子様が目線がシートシェルよりも高くなるまで、もしくは体重が18キロを超えるまでご使用いただけます。



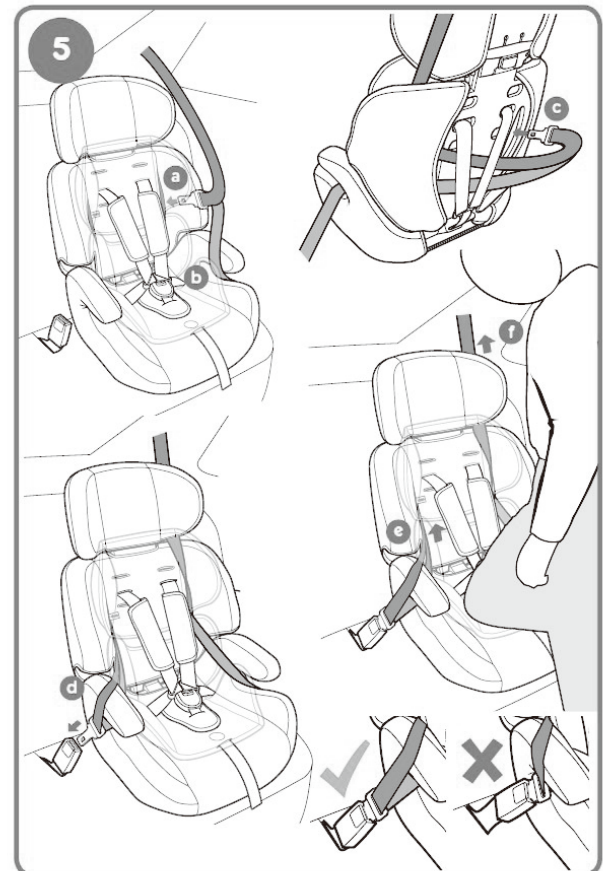
2. 肩ベルトの位置を変える際は、まず、アジャスターボタン(a)を押しながら安全ベルトを手前に引っ張ります。(b)
3. 背もたれの後ろ側にある肩ベルトを留めているコネクタ(c)から肩ベルトを外します。
4. 前面のシートカバーに肩ベルトの端がでるまで引っ張ります。
5. 適した高さのスロットに肩ベルトを通します。ねじれていないかを確認して下さい。
6. 背もたれの後ろ側にある2つのコネクタに肩ベルトの端を留めます。gの左側の図のようにシートベルトの端がきちんと留められているのを確認して下さい。
7. 前面の調整ベルトの端を過剰なたるみがないように手前に引っ張ります。



5. グループ1 (9kgから18kg まで、9ヶ月から4才位) の使い方

※車両のシートベルトクリップはグループ1の使用方法では必要としないので、背もたれにあるポケットに大切に保管してください。

1. 3ページの3に書かれてある適した車の座席にチャイルドシートを置きます。
2. 車のシートベルトをひっぱり、斜めのベルトをシートカバーの赤のシートベルト差込口(a)に通し、腰ベルトをシートベルトガイド(b)の下に通します。シートベルト差込口は赤の矢印のタグが付いています。
3. 背もたれの後ろにいった車のシートベルトを図のようにチャイルドシートの安全ベルトの下に通して、反対側の赤のシートベルト差込口(c)に通して前面にシートベルトを出します。
4. 前面に出てきた車のシートベルトをシートベルトガイド(d)の下に通し、車のシートベルトのバックルに差し込んでシートベルトを締めます。
5. チャイルドシートの座席の上に膝を乗せ、車の座席にチャイルドシートを慎重に押していきます。シートベルト(e)を手前に引っ張り、腰ベルトの緩みをなくします。次に斜めのシートベルト(f)を引っ張り、緩みをなくします。これでグループ1の設置は正しくできました。



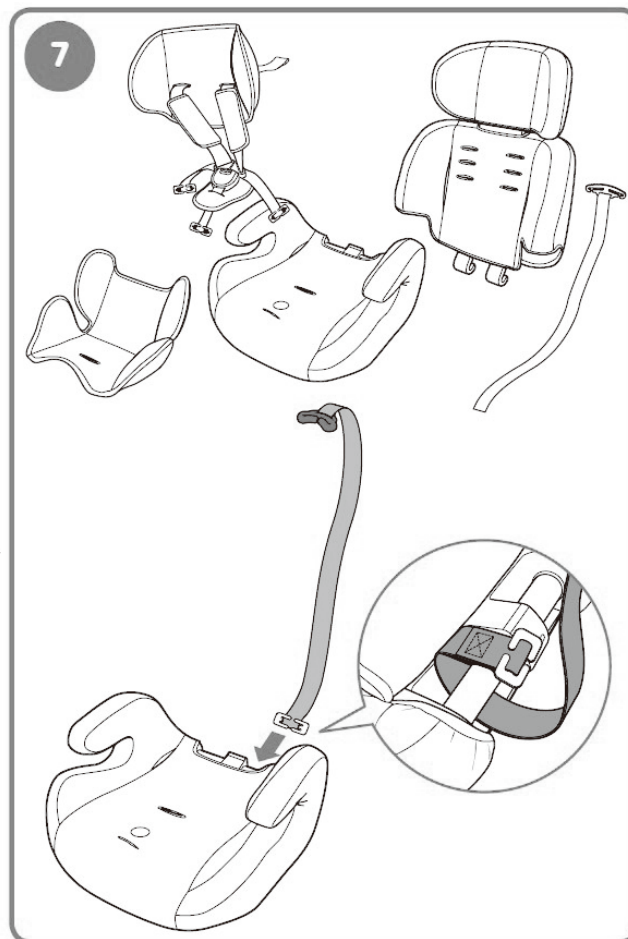
7. グループ2 (15kgから25kgまで、4才から6才位)の 使い方 パート1

1. 肩ベルトと安全ベルトを外します。
(4の安全ベルト調整方法をご参照下さい)
2. 背もたれを取り外します。
3. ブースターシートの裏側から股ベルトと腰ベルトを取り外します。
4. 安全ベルトのバックルのボタンを押して、背もたれの後ろ側から出ている安全ベルトを取り外します。
5. 図のようにブースターシートの後ろ側の差込口(背もたれが付いていた場所)に車のシートベルトストラップを通します。

※チャイルドシートが車の右側の座席に設置する場合は右側の差込口に車の左側の座席に設置する場合は左側の差込口をご使用下さい。

【重要】

車のシートベルトのバックルの位置はチャイルドシートの安定性に影響します。事故があった際、安定が悪いとお子様を守ることができません。もし、上記の設置方法に従って右の図の赤いバツ印で示されているようになった場合、別の座席にチャイルドシートを移して左のチェック印になるように設置しなおして下さい。

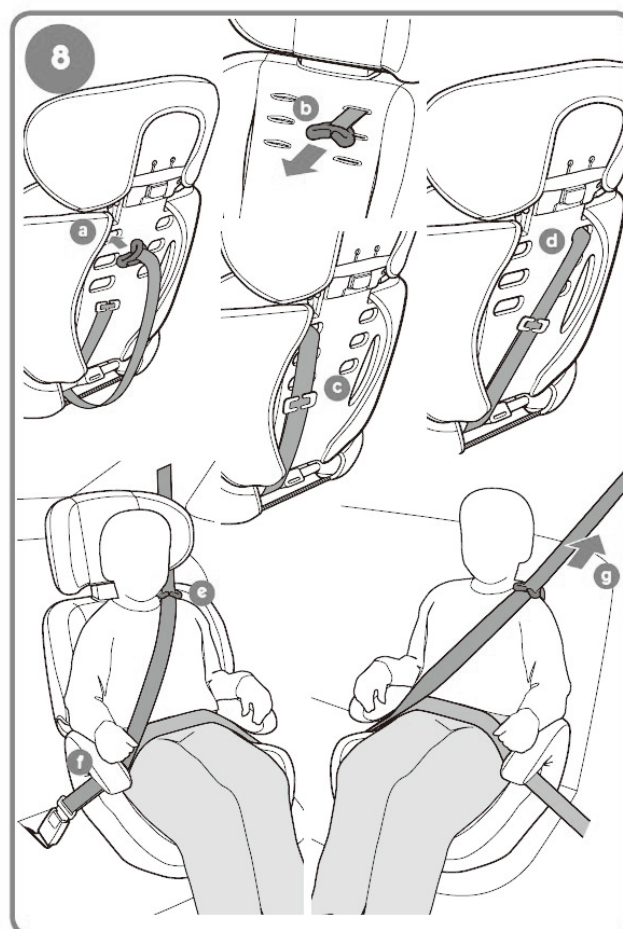


8. グループ2 (15kgから25kgまで、4才から6才位)の 使い方 パート2

1. ブースターシートに背もたれを差し込みます。
2. シートベルトストラップに付いているクリップを背もたれの一番上のスロットに通して背もたれのシートの前面に出します。(b)
3. 背もたれの裏側にあるシートベルトストラップをクリップで留めます。(c)
4. もし(b)のクリップが反対側に位置しないといけない場合は図(d)のように反対側の一番上のスロットにクリップを出します。
5. ブースターシートが車の座席にしっかり取り付けらるよう座席に置きます。
6. ヘッドレストの高さを適した高さに調整します。(3ページの2. 3参照)
7. お子様を乗せてシートベルトを図のように締めます。斜めのシートベルトは車両シートベルトのクリップ(e)に通し、腰ベルトはアームレストの下を通っているのを確認して下さい。(f)
8. シートベルトはねじれていないか、また、斜めのシートベルトを上引っ張り、たるみがないようにします。(g)
9. ブースターシートから子供を出す際は、普通通りシートベルトのバックルを押して解除するだけです。

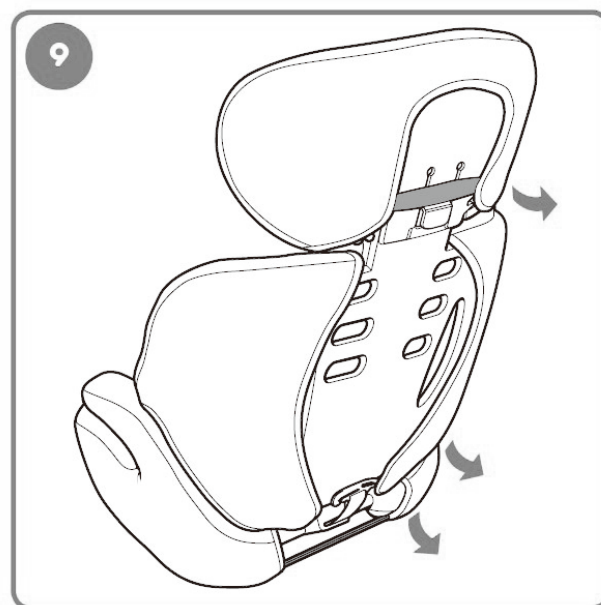
【安全確認のチェックリスト】

- 斜めのシートベルトはヘッドレストにあるシートベルトガイドを通してあることと、腰ベルトは左右のアームレストの下を通してあることをご確認ください。
- ストラップにゆるみが無く、またねじれていないことをご確認ください。
- 車のシートベルトのバックルはシートクッションのアームレストの上や、クッションとアームレストの間に位置しないようにして下さい。
- 腰ベルトはアームレストの下に来なければいけません。肩ベルトは子供の肩と胸を通過して2つのアームレストのどちらかの下を通さなければいけません。
- 車のシートベルトはお子様の安全を最大限に確保するため、常にゆるみが無く適正な張りがあるようにして下さい。



9. グループ 3 (22kg から36kgまで、6才から11才位) の使い方

1. 肩ベルト、股ベルトと腰ベルトを取り外します。
2. 肩と安全ベルトをクリップから外します。(4ページの4を参照)
3. ブースターシートの裏にある股ベルトと腰ベルトを留めてあるクリップから取り外します。
4. ブースターシートから背もたれを取り外します。
5. ブースターシートを車の座席に置きます。
6. 車の斜めのシートベルトはシートベルトクリップ(a)を通し、腰ベルトは左右のアームレストの下を通して下さい。
7. シートベルトがねじれていないことをご確認ください。また斜めのシートベルトを上引っ張り、適切な張りがあることをご確認ください。
8. 子供をブースターシートから降ろす際は通常通りシートベルトのバックルを外して下さい。
9. お子様の年齢と体重がグループ 3 の対象に入っていることをご確認ください。



- 対象の体重：グループ3は22kg から36kg
- 腰ベルトはアームレストの下に位置しなければいけません。肩ベルトは子供の肩と胸を通過して2つのアームレストのどちらかの下を通さなければいけません。
- ブースターシートを固定する際、車のシートベルトにねじれが無いことと、適切な張りがあることをご確認ください。さらに、お子様がブースターシートにきちんと固定するために、シートベルトはお子様の体の上にくるようにして下さい。